

# グランプリ 1 s t 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は 2023 年日本陸上競技連盟の競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 練習について

練習は競技役員の指示に従って実施し、危険防止に努めること。

メインスタンド下の雨天走路は走幅跳・三段跳の待機場所として使用するため、使用禁止とする。

バックスタンド下の走路は練習場所として開放するが、混雑時は注意して使用すること。テント・シート  
の設置等、待機場所としての使用は禁止とする。

## 3. 招集について

(1)招集所は 100m スタート地点の器具庫付近に設ける。フィールド競技の招集もすべて招集所で行う。

(2)各種目の招集時刻は次のとおりとする。時間に合わせ、遅れずに集合すること。

トラック競技 (リレーを除く)	1～4組	競技開始15分前
	5～8組	競技開始5分前
	9～12組	競技開始5分後
	13～16組	競技開始15分後
リレー競技	1～2組	競技開始20分前
	3～4組	競技開始10分前
フィールド競技		競技開始30分前

(3)招集の方法については次のとおりである。

①トラック競技は招集時刻に招集所で競技者係の点呼を受け、腰ナンバーカードを受け取る。

②招集は必ず本人が行うこと。ただし、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「二種目同時出場届」を招集所に提出し、当該競技の審判員にもその旨を申し出て、指示に従うこと。

③棄権する場合は招集所に「棄権届」を提出する。

④招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなす。

## 4. 競技について

(1)トラック競技について

①短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。

②ハードルの高さインターバルは、次の通りである。

		110mH	110mJH			100mH	100mYH
男子	高さ	106.7cm	99.1cm	女子	高さ	84.0cm	76.2cm
	インターバル	9.14m	9.14m		インターバル	8.50m	8.50m

## (2)フィールド競技

- ①競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②携帯電話等、TR6.3.2にかかわる機器は競技場内に持ち込むことはできない。映像機器の視聴は競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、スタンドからのみ認めるが、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。
- ③小学生男女の走幅跳・男女三段跳の試技回数は3回とし、トップ8は行わない。
- ④走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

種目		練習	バーのあげ方						
走高跳	男子	1m45	1m50	1m55	1m60	…	1m90	1m95	以降3cmずつ
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	…	1m50	1m55	以降3cmずつ
棒高跳	男子	2m30	2m30	2m50	2m70	…	3m30	3m50	以降10cmずつ
	女子	2m00	2m00	2m10	2m20	…	3m20	3m30	以降10cmずつ

※気象条件等により変更する場合もある。

- ⑤投てき物の重量は、次の通りである。

	一般男子	高校男子	女子
砲丸	7.26kg	6.0kg	4.0kg
やり	800g	800g	600g

## 5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、各種目とも胸部、背部の両面につけること。跳躍種目はどちらか片方でよい。

## 6. リレー競技

オーダー用紙はHPに掲載する。参加団体は事前に印刷し、当日各種目とも、競技開始の1時間前までに招集所に提出すること。

## 7. その他

- (1)本大会における感染症対策については山梨陸協HPに掲載しているマニュアルに基づいて行う。各所属・各個人において熟読し、ルールを守り、マナーある行動をすること。
- (2)貴重品の管理については、各自で十分に注意し、盗難にあわないように努めること。
- (3)ごみは各団体で責任をもって持ち帰ること。
- (4)使用したスタンドの座席周辺や各団体の控え場所等もきれいな状態にして帰ること。